

3/19 (金) 少年野球日本一に向けて

県支部予選を勝ち抜き、3月26日から行われた第51回日本少年野球春季全国大会（中学生の部）の出場を決めた「県央宇都宮ボーイズ」に所属する、本市在住の川村 哲平選手と齋藤 悠人選手が市長を表敬訪問しました。両選手は「コロナ禍で練習ができない中、素振りなど自主練を続けてきた。全国の舞台でも悔いの無いよう戦いたい」と、意気込みを話してくれました。その後臨んだ全国大会でも、同チームはトーナメントを勝ち抜き、見事日本一の栄冠に輝きました。



◀ (左から)
・川村 正信保護者会副会長
・川村 哲平選手 (片岡中)
・齋藤 悠人選手 (片岡中)

4/3 (土) 地域の安全安心を守る

生涯学習館で、市消防団辞令交付式が行われ、幹部職員20人が出席し、大貫団長から辞令交付や訓示のほか、齋藤市長などが挨拶しました。4月から新入団員10人に加え、本部分団および5分団22部、総勢364人の新体制となりました。団長は訓示のなかで「火災時の消火活動や大規模災害時での救助活動など、有事の際に消防団に求められる役割は増えている。今後も安全安心な地域づくりに貢献できるよう、団員の確保や組織の強化に努めたい」と話しました。



3/28 (日) 観光客増加に期待

東北自動車道矢板北パーキングエリアに接続する計画で整備を進めてきた「矢板北スマートインターチェンジ(IC)」が完成し、開通式が行われました。式では市や東日本高速道路(株)、事業関係者が参加し、テープカットやくす玉割りのほか、通り初めとして関係車両がETCゲートを通る記念行事が行われ、開通を祝いました。スマートICの開通で、高速道路から市北部地域や中心市街地までの到達時間短縮により観光客の増加が見込まれるなど、本市のさらなる発展に欠かせない礎として期待されています。



4/4 (日) 本番に向けた接種訓練

文化会館小ホールで、新型コロナウイルスワクチン集団接種の運営訓練が行われました。これは、市内医療機関の医師や看護師、市職員のほか、被接種者役の矢板市健康づくりみどりの会が、集団接種の受付から問診、接種、経過観察までの一連の流れの中で、実際の作業内容の確認や課題の洗い出しをするために行われたものです。後藤医師団長は「今日の訓練で見つかった課題を解決し、スムーズな接種が行えるよう、本番に向け万全の体制を整えたい」と、力強く話されました。



4/1 (木) 地域発展の橋渡しに

市役所で、県内初となる「地域プロジェクトマネージャー(PM)」の委嘱状交付式が行われ、平成29年1月から3年間、市地域おこし協力隊員として活躍した神崎 裕樹さんが任命されました。地域PMとは、総務省が今年度、各地域に適任な人材を呼び込むために創設した制度で、主要事業の遂行にあたり関係機関との橋渡し役を担う人材です。神崎さんは「協力隊として培った人脈や経験を生かし、矢板ならではのアウトドア体験の開発など、スポーツツーリズムの推進に努めたい」と、抱負を話してくれました。



4/7 (水) 交通事故ゼロを目指して

片岡の国道4号で、「春の交通安全市民総ぐるみ運動」に合わせて片岡長生会を中心とした立哨が行われました。この日は、春休み中の片岡小児童や子ども見守り隊、警察の白バイ隊員のほか、仮装した会員など約30人が参加し、歩道から交通ルールの遵守やマナーの実践を呼びかけました。大類 正雄会長は「多くの人目を引くことで交通安全の意識高揚につながるようユニークな立哨を試みた。交通事故のない安全な地域を目指し、今後も趣向を凝らした取り組みを行っていききたい」と話されました。



広報やいたに 広告掲載 しませんか？

【問い合わせ】 秘書広報課 ☎(43) 3764

①裏表紙限定 60,000円/回 (12cm×17.8cm)	②スタンダード 20,000円/回 (4.1cm×17.8cm)	③気軽にできる 10,000円/回 (4.1cm×8.9cm)
--------------------------------------	--	---------------------------------------

広報やいたに 広告掲載 しませんか？

【問い合わせ】 秘書広報課 ☎(43) 3764

①裏表紙限定 60,000円/回 (12cm×17.8cm)	②スタンダード 20,000円/回 (4.1cm×17.8cm)	③気軽にできる 10,000円/回 (4.1cm×8.9cm)
--------------------------------------	--	---------------------------------------